

利用者の情報行動

逸村裕 (いつむら ひろし)

hits@slis.tsukubai.ac.jp

筑波大学図書館情報メディア系教授

筑波大学附属図書館研究開発室室員



逸村裕 略歴

1980.4. 上智大学図書館

目録 理工レファレンス 選書 システム テクニカルサービス課長補佐
私立大学図書館協会東地区研究部常任幹事 同協会機械化委員会委員

1991.4. 愛知淑徳大学 図書館情報学科

専任講師 助教授

図書館長補佐 図書館副館長

2002.1. 名古屋大学附属図書館研究開発室 助教授

2002.4. 文部科学省研究振興局学術調査官（併任） -2008.3.

2006.4. 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 教授

現在 筑波大学図書館情報メディア系教授

現在 筑波大学附属図書館研究開発室室員

筑波大学大学院共通科目部会部会長

筑波大学新聞編集委員

日本図書館協会大学図書館部会委員

SPARC japan運営委員会委員

Does anybody really know what time it is? Robert Lamm

The Pandemic will accelerate history rather than reshape it.
パンデミックは歴史を変えるのではなく、速く進ませる

着眼大局着手小局

本日の話の流れ

- 1.大学の中で図書館は
- 2.COVID-19下の情報行動
- 3.学生の情報行動
- 4.研究者の情報行動 Publish or/and perish
- 5.これからの大学・情報環境・大学図書館

COVID-19蔓延により社会状況は一変した。

大学そして大学図書館においてもその変化は大きいものがある。

各種データから利用者の情報行動と大学図書館を考える。

ICTの普及は情報流通を変えた

一般社会へも

「プレプリント・サーバー」 「査読」がマスコミに登場

COVID-19に関しては、速報性を重視する観点から「プレプリント・サーバー」と呼ばれる、専門家による査読がなされる前の原稿を投稿するシステムが使われることも多い。だが、ここに掲載された内容が、他のメディアに「最新の学術的成果」として引用されれば、誤った情報が社会に広がってしまうことも起こりうる。

実際、一部で話題になった「新型コロナウイルスは人為的につくられたもの」という流言のソースの一つは、そのような査読前原稿であった。ちなみに、この原稿も世界中の研究者から批判を受け、すぐに撤回されている。

科学的知識には、新規性、信頼性、社会的意義といった、複数の評価尺度がある。それらは時にはトレードオフの関係になるが、コロナ禍の拡大により、各要素の緊張関係が際立ってきているとも考えられる。同様の問題は、原発事故や狂牛病など科学的な不確実性や未解明性が高い領域で、社会的影響の大きな事件が先行した場合、顕在化してきた。

私たちはいま、改めて、専門家や政治家、メディアも含め、科学的知識に向き合う際の「基本」を再確認すべきではないか。それはポストコロナ時代の「新教養」として求められるものだろう。

神里達博.新型コロナ「最新の研究成果」勇み足次々、信頼性確認を. 朝日新聞 2020年8月21日朝刊

Publish or Perish この文章の掲載場所はどこでしょう？

研究者は自分の研究成果を発表することが仕事です。研究者に対する表現として“Publish or Perish”があります。20世紀前半に現れた言葉だそうです。「論文を書け、さもなくば立ち去れ」という意味です。研究をしているだけではダメでその成果を論文として発表して初めて研究者として生きていけるということです。論文にする前にしばしば口頭で発表することも多いです。（他の研究者から批判的なコメントをもらって必要に応じて研究を修正したり発展させたりします）。論文や口頭発表の場が必要になります。それが学会なのです。中世では研究者が成果を発表するのは本の出版という形でした。本を出版するにはそれなりのお金が必要なので、研究者は自分自身が裕福な場合は自腹で出版し、それほど裕福でない場合は貴族などのスポンサーを見つけて出版していました。ふつうの人は研究者になれなかったのです。その後多くの研究者に発表の機会を与えようということで研究者が集まって互助会として学会を設立したのです。会員は毎年会費を払います。学会の運営は、会員数が数千人以上の大きな学会は専従の事務員を雇ってその人たちが入会退会手続き、学会費徴収、学会誌編集などを行います。小さい学会は研究者が理事となり、自腹ですべてを行います。ボランティアです。その学問を発展させたいという強い思いがないと理事などやってられません。

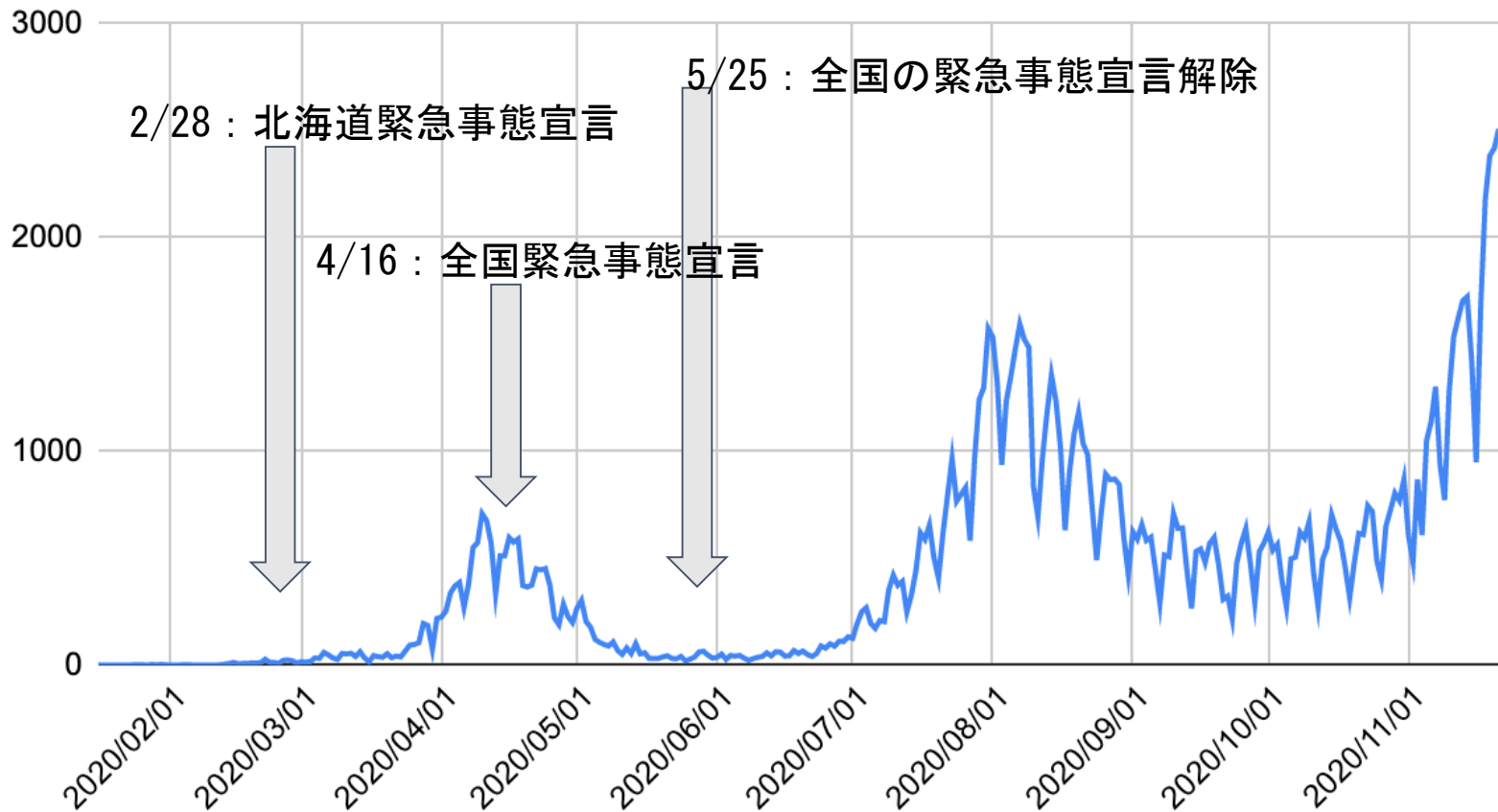
研究者は好きなことだけやっている気楽な商売とされているかもしれませんが、どの商売もそうであるように研究者も大変なのです。

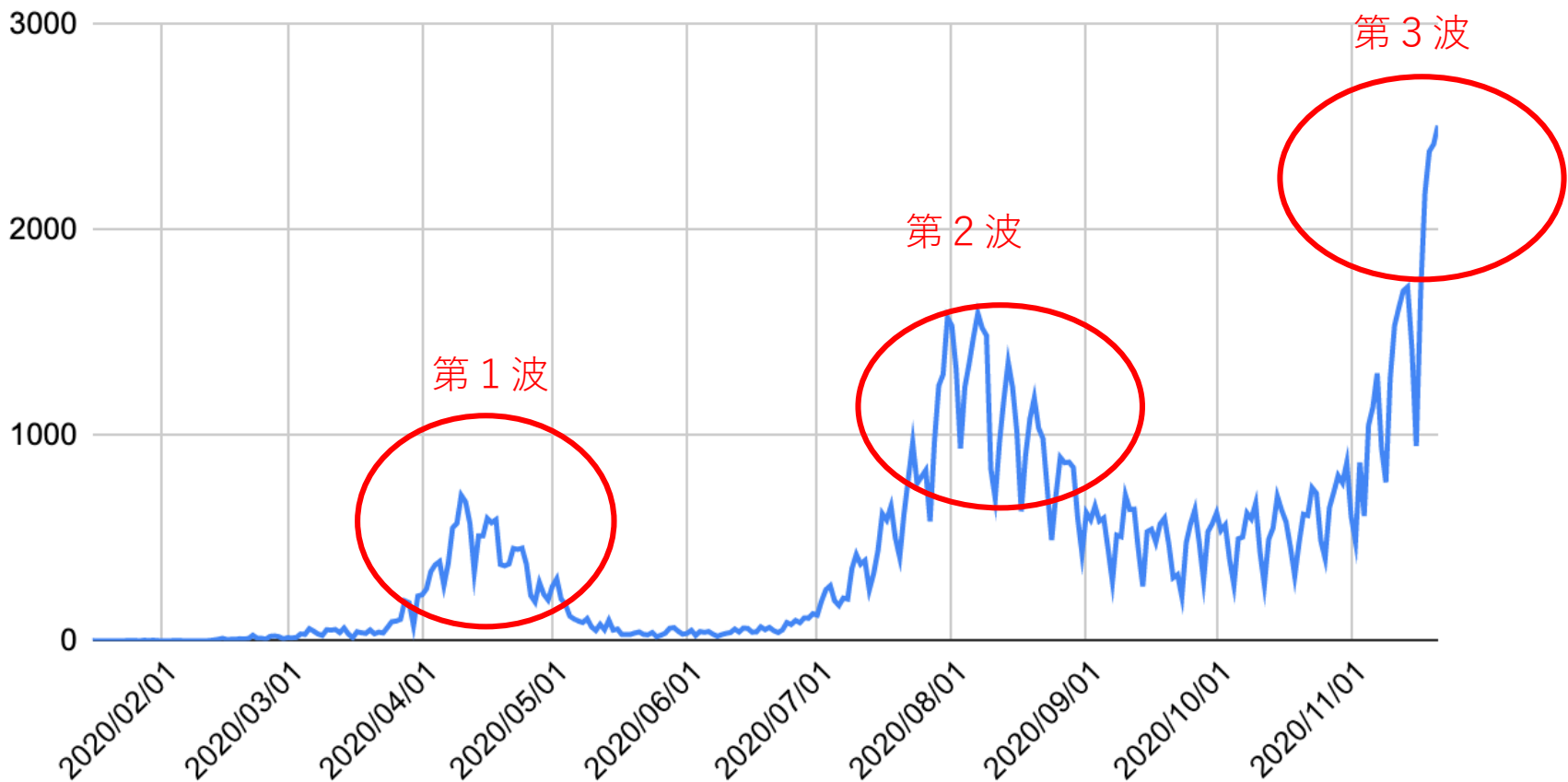
緊急事態宣言期間 2020年4-5月

期間	地域	内容
2020年4月7日 ～5月6日まで	埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、福岡	緊急事態宣言
4月16日	全都道府県	緊急事態宣言拡大
5月4日～5月31日	全都道府県	緊急事態宣言延期
5月14日	北海道、埼玉、千葉、東京神奈川、京都、大阪、兵庫	緊急事態宣言対象地域を左の通り変更
5月21日	北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川	緊急事態宣言対象地域を左の通り変更
5月25日	全都道府県	緊急事態宣言解除

陽性者数 2020年2月から2020年12月

陽性者数





1.大学の中で図書館は

(1)大学内での位置づけ

(2)大学への

(3)大学図書館への

(1)大学内での位置づけ

この状況下、図書館の大学内での位置づけはどうか？

学術情報基盤実態調査での報告

図書館長

部長（事務長）

課長

中堅職員

他部署からどう見られているか？

図書館が言うんだから仕方ない

2.COVID-19下の情報行動

(1)COVID-19と大学・大学図書館関係の概況

(2)各種調査結果

リモート授業

20年前からe-Learning、OCW、MOOCs とかいろいろ言われてきたが
2020急速な対応を迫られた

現在

オンライン教育環境はそこそこ整った
自宅でのICT環境を整えれば

オンデマンド

自分の都合に合わせて授業を受けることができる
許諾が出れば同曜日同時時間帯の複数の受講ができる

オンライン授業のタイプ

大きく分けて2種類

A. オンデマンド型（非同期型）

学生がオンライン上の授業のページにアクセスし、

教員がアップロードした資料テキスト、プリント、授業録画、WWW)

や教科書（学習するページを指示）で個別に学ぶ

教員が提示した課題に取り組む

B. 同時双方向型（同期型）

学生が定められた時刻に同時にZoomやTeamsなどにアクセスし、

リアルタイムかつ双方向で学ぶ

教員が提示した課題に取り組む

オンライン授業のデメリット

動画が見にくい、疲れる

録音状態が悪く講義内容が聞き取れない、聞きづらい

ネット回線のトラブル, 教材にアクセスできない, 課題レポートの提出ができない

質問する場が提供されていない

友人と共にやることが難しい

メリット 特にオンデマンド

通学時間がない

自分の理解度にそって自分のペースで学習に取り組める

講義を自分のやり方で見返すことができる

他人とつるむ必要がなくなった

授業の全面遠隔・全面对面・併用

	2021年5月20日時点	2021年7月1日時点
全面遠隔	778校	254校
全面对面	27校	173校
併用	59校	642校

(2)各種調査結果 NISTEP

たくさんいろいろなものがある

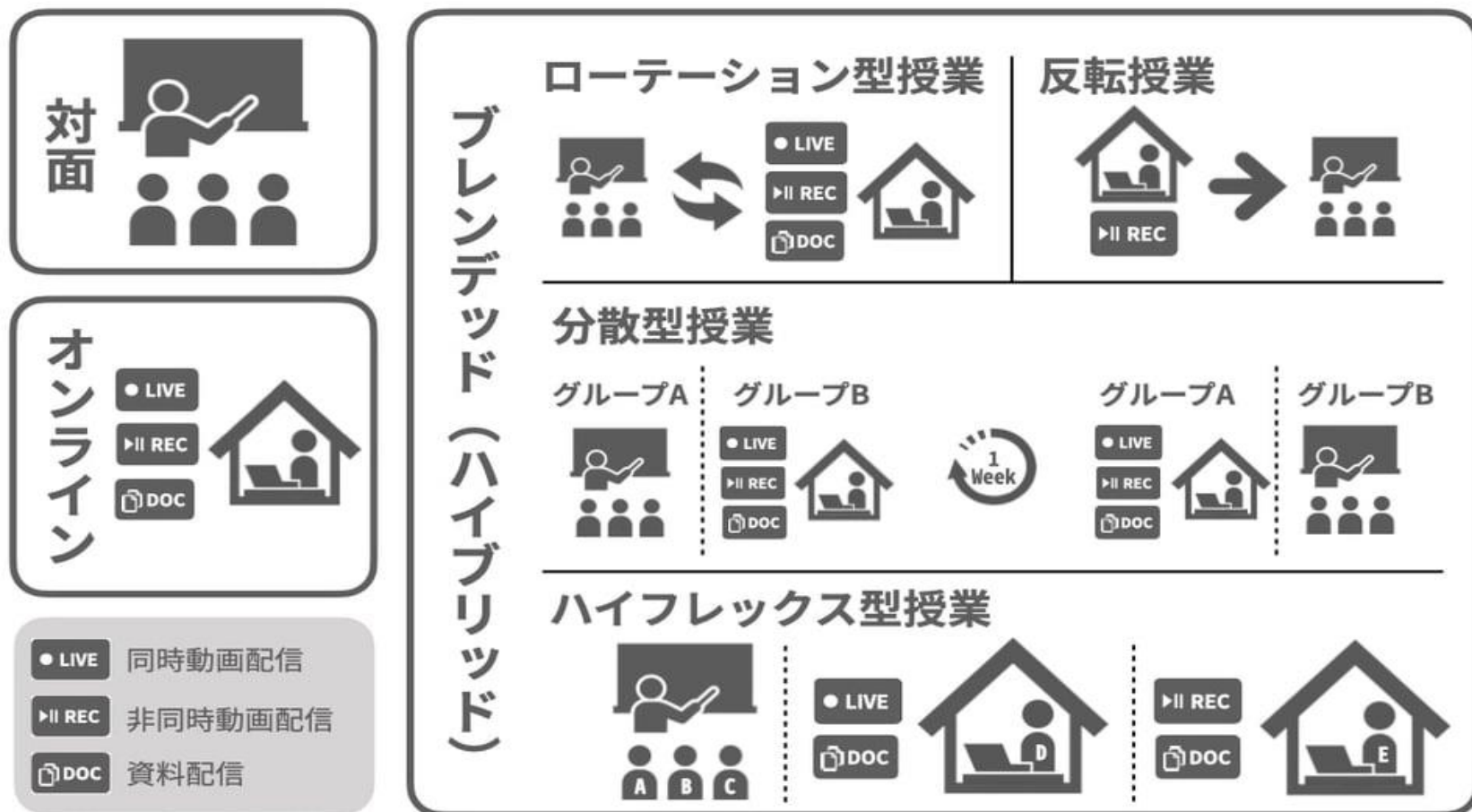
文部科学省 科学技術・政策研究所（NISTEP）の調査研究報告書

- 2021.06.30 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における我が国のワクチン開発に関する課題と対策の抽出[RESEACH MATERIAL No.308]
- 2021.06.28 イノベーションの画期性と企業成長：全国イノベーション調査を用いた分析[DISCUSSION PAPER No.196]
- 2021.06.28 日本版バイ・ドール制度を適用した特許出願の網羅的調査[DISCUSSION PAPER No.195]
- 2021.06.16 民間企業の研究活動に関する調査報告2020[NISTEP REPORT No191]
- 2021.05.20 欧州レベルの科学技術・高等教育政策～現状と成立過程～[調査資料-307]
- 2021.04.28 コロナ禍を経た科学技術の未来－第11回科学技術予測調査フォローアップ－[調査資料-309]
- 2021.04.28 第11回科学技術予測調査における実現見通しの回答者所属・年代別比較分析[DISCUSSION PAPER No194]
- 2021.04.09 科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2020）データ集[NISTEP REPORT No190]
- 2021.04.09 科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2020）報告書[NISTEP REPORT No189]
- 2021.03.26 研究大学における教員の雇用状況に関する調査[調査資料-305]
- 2021.03.26 ポストドクター等の雇用・進路に関する調査（2018年度実績）[調査資料-304]
- 2021.03.25 科学技術に関する国民意識調査－新技術の社会受容性の決定要因の分析－[調査資料-306]

3. 学生の情報行動

ハイフレックス（HyFlex）型授業とは、Hybrid-Flexibleの略で、対面・同期オンライン・非同期オンラインが提供され、学生が自在に選択することができる授業形態を指します。

大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部



※各授業型の用語は、欧米や日本における一般的な定義をレビューした上で作成しています。組織や研究者によっては、異なる定義がされていることもあります。

高校生が授業や学習で調べ物をする際の情報源(複数回答)

インターネット	91.3%
学校図書館	30.0%
公共図書館	21.1%
書店	15.3%
決まった情報源はない	5.1%
国立国会図書館	0.5%
大学図書館	0.0%

LINEアプリでの調査 n=393

小野永貴, 常川真央, 宇陀則彦. 新型コロナウイルス感染症に伴う図書館利用制限が高校生へ与えた影響に関するオンラインアンケート調査. 学校図書館学研究, 2021, vol.23, no.1, p.34-45.

高校生が授業や学習で調べものをする際の情報源の組み合わせ

インターネットのみ	206	52.4%
図書館 + インターネット	96	24.4%
図書館 + 書店 + インターネット	44	11.2%
書店 + インターネット	13	3.3%
図書館のみ	11	2.8%
図書館 + 書店	3	0.8%
書店のみ	0	0.0%
決まった情報源はない	20	5.1%
		n=393

情報を得るツール 日本財団「18歳意識調査」 2020.10. (n=1,000)

情報を得るツール 複数回答	%
テレビ	52.7
Twitterなど短文SNS	43.2
Youtubeなど動画サイト	36.9
教科書参考書	34.8
本	33.6
Instagramなど写真SNS	25.1
ニュースサイト	22.9
新聞	6.8
ブログなど長文SNS	3.4
ラジオ	2.6
雑誌	1.6

SNSの利用

日本財団「18歳意識調査」

2020.10.

(n=1,000)

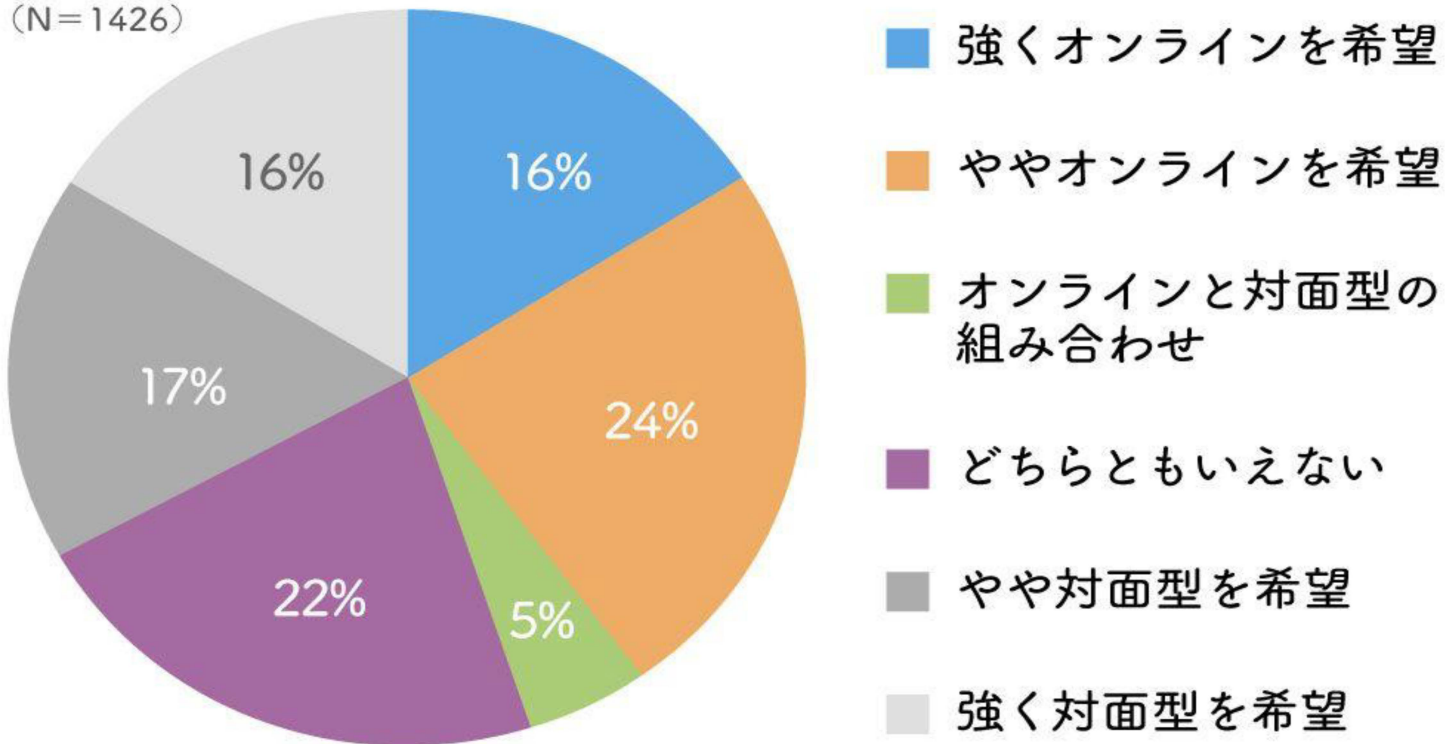
SNSの利用	
普段SNSを利用している	916
過去利用していた	24
利用したことがない	60
SNSの利用使用時間	
4時間以上	209
2-4時間	352
2時間未満	379
SNSの利用用途	
情報収集	804
友人とのやりとり	755
学校や仕事との連絡	755
情報発信	69
ゲーム	29

2020年秋の調査

2020年4月いきなりのリモート授業、いろいろな議論が行われています

この講義をもう一度、受講経験がなくはじめから受けるとすると、
今のようなオンライン講義と対面型講義のどちらがいいですか？

(N=1426)



出所:東洋大学現代社会総合研究所ICT教育研究プロジェクト「コロナ禍対応のオンライン講義に関する学生意識調査」を基に東洋経済作成

2021年3月の調査

オンライン授業について

全体的な満足度としては、不満を感じる割合より満足を感じる割合の方が多い。

あまり満足していない：14.9%

満足していない：5.7%、

理解のしにくさや、人との関わりがないことなど教育の質に関わる課題等により不満を持つ学生も多い

新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の 学生生活に関する調査（結果）

文部科学省. 2021.3. 無作為に抽出した学生約3,000名⇒有効回答者：1,744名

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の 学生生活に関する調査（結果）
文部科学省. 2021.3. 無作為に抽出した学生約3,000名⇒有効回答者：1,744名

経済状況について

2021年1-2月（緊急事態宣言発令中）のアルバイト収入が、
前年10-12月（未発令時）より大きく減少した学生は約2割

悩みについて

将来のキャリア	73.3%
経済的な状況	40.7%
授業等	37.9%
相談先 保護者や兄弟姉妹	65.4%
友人	68.7%
同級生・先輩後輩	58.7%
教職員や相談窓口	17.4%

あなたのいばしょ <https://talkme.jp>

あなたのいばしょ

孤独は恥ずかしいことではない 頼れる人につながる仕組みを
大空幸星・「あなたのいばしょ」理事長

2020年3月にNPO法人「あなたのいばしょ」を立ち上げ、相談を受けている。24時間、年中無休でインターネットを利用したチャット相談を受け付けているが、相談数が急増している。1日に600件以上、月に約2万件が寄せられる。

相談が濁流のように押し寄せるなかで、体制を拡充して下流で一生懸命、壁を積み立てているだけでは間に合わないと感じるようになった。やはり問題の源流にアプローチし、上流でせき止める政策が必要だ。

毎日新聞 2021年6月10日

https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20210609/pol/00m/010/010000c?cx_fm=mailhiru&cx_ml=premier&cx_mdate=20210610

ライブ・エンターテインメント市場の激減

1998年当時7,000億円あったCD等による音楽パッケージ市場の売上高は2013年には2,705億円となり、1980年以来の最低額を更新。一方で、ライブ・コンサート市場は堅実な伸びを見せている。2013年は5万回以上の公演が開催され、市場の8割を占めるポップスは右肩上がり成長している

デジタルコンテンツ白書. 2014.

2019年ライブ・エンターテインメント市場6,295億円、2020年1,306億円と前年比79.3%減

・・・音楽フェス市場は2019年度比約98%減

ぴあ総研、2019年のライブ・エンタメ市場が6,000億円を突破し過去最高となる速報値を公表。

2020年のコロナ禍の影響を試算

https://corporate.pia.jp/news/detail_live_enta_20200630.html

(6)学生実見

a.呼吸するように_____を使用する。

b.情報探索に関する根拠なき自信

しかし CiNii Articles知らない。

c.レポートを書くことへの不安

コピペ/剽窃/引用 ウィキペディア 書誌記述・・・

d.手慣れてきたプレゼンテーション

e.教科「情報」の影響

メディアリテラシー ネット犯罪 情報セキュリティ 情報倫理 著作権

Fake news

プログラミング

タイピング

f.アクティブラーニングの今

g.なんでデジタル化していないんですか？

(6)学生実見

- a.呼吸するように[Google](#)を使用する。
- b.情報探索に関する根拠なき自信
しかし CiNii Articles知らない
- c.レポートを書くことへの不安
コピペ/剽窃/引用 ウィキペディア 書誌記述・・・
- d.手慣れてきたプレゼンテーション(高校で扱う)
- e.教科「情報」の影響
メディアリテラシー ネット犯罪 情報セキュリティ 情報倫理 著作権
Fake news (高校で扱う)
プログラミング (できない やったことない)
タイピング (遅い学生が多い PCを持っていない)
- f.アクティブラーニングの今
- g.なんでデジタル化していないんですか？

オンデマンド授業の実際 逸村担当

学術情報基盤論

知識情報・図書館学類3年生対象

7月-8月前半 週二回火12限(8:40-11:25)+金曜12限

5週 10回 毎回小レポート+最終レポートで評価

受講者数増えた

脱落割合減った

2021年度受講者56名

オンデマンドだが時間割通り(8:40)にコースコンテンツ公開
小レポート締切は72時間後

2021年度

小レポート 早い学生は30分後に提出
締切（72時間後）時のレポート提出者は51名

多くの学生はリアルタイムにはアクセスしない
成績は明らかに良くなった。

逸村研究室の活動 2019.11-2021.03

予定

- | | |
|----------|----------------------------|
| 2019年11月 | 三年ゼミ決定5名
毎週ゼミ |
| 2020年3月 | 院生OBOG・他大生とゼミ合宿（参加30名） |
| 2020年6月 | 卒業研究着手発表 |
| 2020年9月 | 院生OBOG・他ゼミ・他大生とゼミ合宿（参加40名） |
| 2020年6月 | 卒業研究着手発表会 |
| 2020年10月 | 卒業研究中間発表会 |
| 2020年12月 | 卒業論文提出 |
| 2021年1月 | 卒業研究最終発表会 |
| 2021年3月 | 卒業式 |

逸村ゼミ生の活動

学類生

卒業研究テーマ

大学図書館における貸出履歴分析

音楽系大学図書館における視聴覚資料提供の現状

大学図書館員研修の現状と課題

大学図書館友の会及び類縁組織の調査

機関リポジトリに登録されたオープンアクセス ジャーナル収録論文の被引用数の変化

ほとんど対面指導ができなかった

図書館使えない

対面活動を行えない

研究に制約

大学院生

博士前期

1年 社会人院生4名 すべてオンライン

博士後期

13名 多くが社会人院生

多くが休学

留学生（中国人と米国人）休学して帰国

大学から研究資金補助一人3万円（アマゾンでの購入 自宅送付）

特別に休学延長を認めた

研究に制約

4.研究者の情報行動 Publish or/and perish

皆さんお勤めの大学・研究所の教員採用・昇進条件を知っていますか？

4.研究者の情報行動

(1)研究者と評価

英文査読論文重視

(2)若手研究者の情報行動は近未来を変える・・・

(3)ITCに馴染んだ世代が学術世界の様相を変える？

Open Science

Open Access

PID

Article Level Metrics

Altmetrics

4.研究者の情報行動 Publish or/and perish

(1)研究者と評価

大学院生が教員になるには

若手

大学院→学位取得

ポスドク

終身雇用（在職権）への道

任期制(tenured)

テニユアトラック

JREC-INを見ましょう <https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>

(筑波大学図書館情報メディア系では教員二名を公募中)

中堅

シニア

ポスドクに関する調査

2018 年度ポストドクター 15,590 人（前回 2015 年度15,910人 2008 17,945人）

平均年齢 37.5 歳

男70.2% 女29.8%

理学36.8% 工学21.3% 保健17.0 農学8.2% 人文6.9% 社会4.8%

国籍・地域別 日本69.6% 外国30.1%

雇用財源 基盤的経費等 5,208 人（33.4%）競争的資金 3,299 人（21.2%）

競争的資金以外の外部資金 3,086 人（19.8%）

採用前職業 ポスドク 4,496(30.1%) 博士課程学生4,322(27.7%)

次年度進路状況ポスドク継続71.2% 大学教員等研究職13.0% 不明等14.2%

ポストドクター等の雇用・進路に関する調査（2018年度実績） [NISTEP 調査資料-304]

籍のない「在野」研究者への図書館サービスは？

大学教員になるには

皆さんお勤めの大学・研究所の教員採用条件を知っていますか？

Bibliometricsデータが用いられることが多い

論文数（査読付） 図書数 国際会議発表数

被引用数 Impact Factor h-index FWCI . . .

他に特許取得数 外部資金獲得数 教員・研究員歴 . . .

若手中堅の業績数は多くなっている

ORCIDとの関係

現在、大学の多くは若手を任期付・テニユアトラックで採用する

業績を上げるために力を尽くす

大学教員に採用されるには

採用要件

研究業績 特に英文査読付き論文

学位

外部資金獲得

学会等での賞をとる

例 <応募書類>

1. 履歴書：連絡先 着任可能年月日 学歴 職歴 資格 受賞歴 社会活動（学会活動）歴など
2. 全業績リスト：査読付き学術雑誌論文 査読付き国際学会論文 専門学術著書

その他の論文 解説記事 その他の著書 ソフトウェア 作品 特許

外部資金取得歴 その他特筆すべき事項

3. 主要研究業績リスト：履歴書の提出月から遡り5年以内の主要業績4件（ピアレビューのある学術雑誌論文 ピアレビューのある国際学会論文 専門学術著書から選択）を記載のこと。

4. 3.の主要業績4件のPDFファイル

5. 全教育・実技・実務等業績リスト：教育実践実績、学外委員、研究指導など
6. 研究・教育についての抱負：各600字程度（計1200字程度）

図書館情報メディア系は2020年に25歳の助教（テニユアトラック）を採用しました

大学教員 若手（助教）

若手（明確な定義はありませんが）

年齢

学位取得後〇年以内

研究大学では毎年評価が行われます

助教から准教授に昇進するための要件

研究業績

教育業績

社会貢献

学会活動

学内貢献

その他の業務 学内 学外

年齢

大学教員 中堅

中堅

明確な定義はありませんが、終身在職権を持つ准教授相当とします

研究大学では毎年評価が行われます

准教授から教授に昇進するための要件

研究業績

教育業績

社会貢献

学内貢献

外部資金獲得

学会活動

その他の業務 学内外

年齢

大学教員 シニア

シニア教員

明確な定義はありませんが、終身在職権を持つ教授相当とします
【任期制教授もありますが】

教授になっても毎年評価があります

研究業績

教育業績

社会貢献

学内貢献

外部資金獲得

学会活動

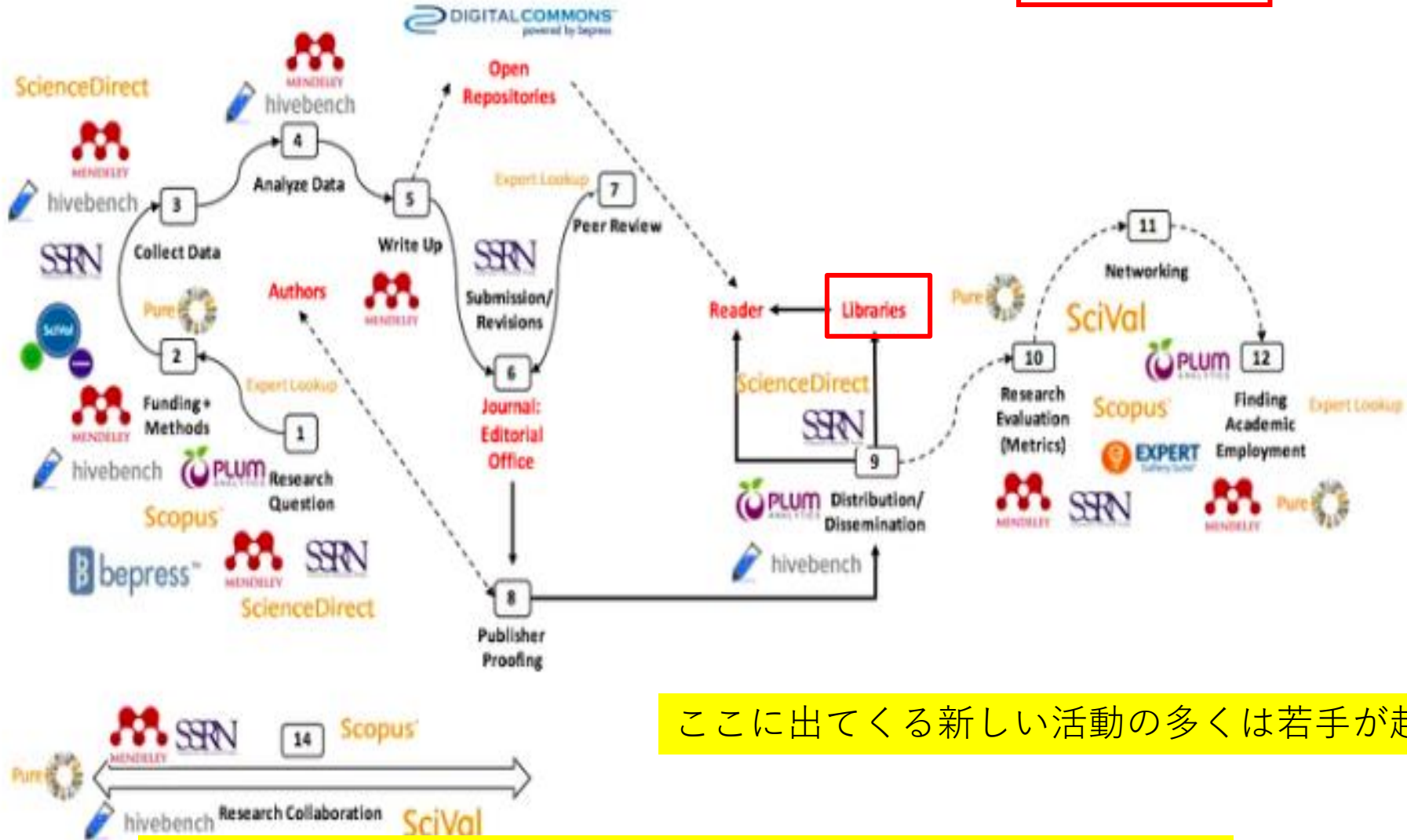
その他の業務 学内外

The Academic Knowledge Production Process

The Research Process

The Publishing Process

The Research Evaluation Process



ここに出てくる新しい活動の多くは若手が起

https://unlockingresearch-blog.lib.cam.ac.uk/?attachment_id=2049

研究大学の大学教員

若手中堅シニアに関わらず活動を続けなくてはならないのが研究大学の教員
COVID-19により教育も研究もオンライン化
評価との闘い

大学図書館は何ができるのか？

ジェリー・Z・ミュラー著, 松本裕訳. 測りすぎ：なぜパフォーマンス評価は失敗するのか？ みすず書房, 2019.

研究業績を上げるのに必要なものは

大学ネットワークの利用

研究機器の利用

大学図書館の利用

非常勤講師の図書館利用をどこまで認めていますか？

大学に籍の無い在野研究者はどうするのか？

若手研究者問題と大学図書館界—問題提起のために—(2013)

<https://current.ndl.go.jp/ca1790>

こんな話もあります

近年、深刻化しているのが、「ポスドク」問題だ。博士号を取得した若手研究者のうち、6割が「任期付き」という不安定な有期雇用にある。さらに、安定した終身雇用のポストへの採用は狭き門であり、「雇い止め」のような形で任期を終えた若手研究者が「使い捨て」されるケースも後をたたない。

「大学が若手を使い潰して捨てるようなことを繰り返しているので、日本のアカデミア（学術研究の環境）に見切りをつけることにしました」

そう話すのは、この3月まで、ある地方の私立大学で任期付きの専任講師として働いていた男性（30代）だ。

将来を嘱望された若手研究者で、学生からの人気も高かったが、期待されていた終身雇用への切り替えを大学がおこなわず、事実上の「雇い止め」をされた。

男性は弁護士に依頼し、大学と交渉したものの、状況を変えることができず、この春でアカデミアを離れる決意をしたという。閉ざされた大学で、何が起きたのだろうか。

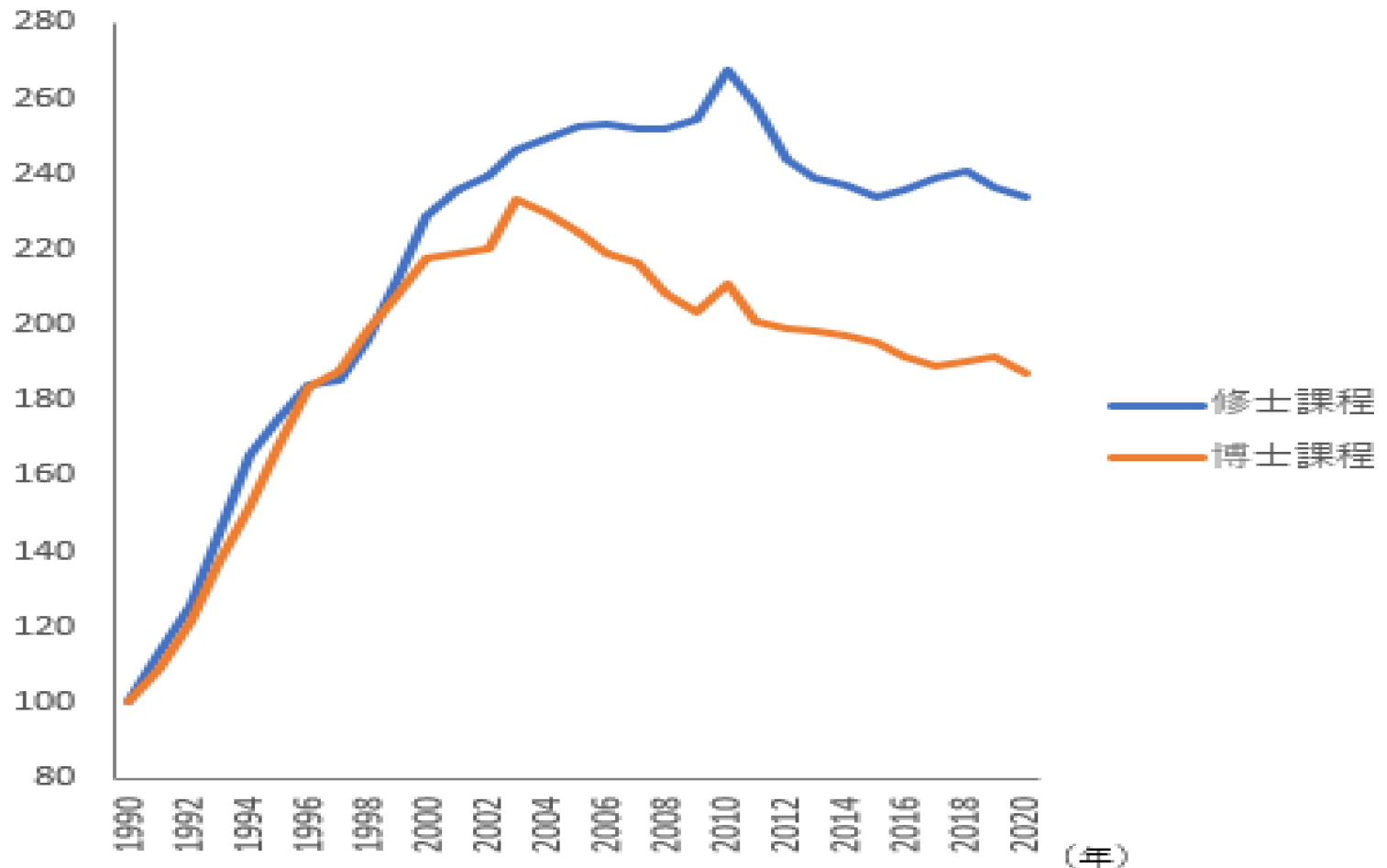
・・・

https://www.bengo4.com/c_18/n_13273/

この私立大学、経営は（今のところ）安定しています。 **どう考えますか？**

「大学を離れて困っているのは図書館が使えないこと」

大学院入学者数（1990年 = 100）



<https://twitter.com/tmaita77/status/1409797922212831236/photo/1>

(2)若手研究者の情報行動は近未来を変えるか

ITCに馴染んだ世代が学術世界の様相を変える?

授業研究のリモート化

Open Science

Open Access

PID

Altmetrics

5.これからの大学・情報環境・大学図書館

未来社会

Society 5.0 **SDGs** **DX** **持続可能性**・・・フアディッシュな言葉たち

企画通すとか予算獲得には便利だが

思考停止を避ける

大学図書館は何をできるのか 何をなすべきなのか

規制改革推進に関する答申 ～デジタル社会に向けた規制改革の「実現」

デジタル時代の日本を支えるイノベーション人材育成の環境整備 **我が国の発展を支えるのは人材育成**である。教育の在り方を不断に検証し、児童・生徒・学生に最良の教育とその環境を提供していく必要がある。我が国の大学における教育・研究は、昨今の技術革新や社会情勢等の変化等に十分に対応できず、また、アジアの諸大学の台頭の影響もあり、世界トップレベルとは言えない時代が続いている。また、高校については、中学校卒業者の99%が進学する中、大学進学や就職など実社会への進路に向けた、重要な教育機関と位置付けられるにもかかわらず、学校生活への満足度や学習意欲に低下がみられるという状況にある。初等中等教育においても、諸外国と比較して、数学的・科学的リテラシーは引き続き高水準にあるものの、読解力（テキストの探索・理解・評価など）は低下してきている。AIやロボットが普通に使われる社会において、これからの子どもたちには、知識や技能を身に付けるだけでなく、それらを使いこなす能力が求められていく。新型コロナウイルス感染症の広がりをきっかけとして、教育の在り方が改めて問われている。デジタル技術の活用によって、教育の質の向上が可能になってきている中、高等教育・初等中等教育の在り方を大きく見直すべきである。デジタル技術の活用を前提として、社会変化に即応した柔軟なカリキュラム編成、多様な専門分野を持つ教師の登用、オンラインと通学を組み合わせた最適な学び方の実現などにより、児童・生徒・学生にとっての最良の教育環境を一刻も早く実現する必要がある。こういった観点から、大学・高校の**設置基準の見直し**を行うべきである。

2021年6月1日 規制改革推進会

<https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/publication/toshin/210601/toshin.pdf?fbclid=IwAR3D0Szn9B9kGyqWQFm4VRGYbjzFWsVbfVrqBoySFzj8wrDDTFiHgBO9-hk>

まとめ

大学図書館は何をなすべきなのか？

The Pandemic will accelerate history rather than reshape it.

パンデミックは歴史を変えるのではなく、速く進ませる

今や大学は知識のソースではなく、新しいもの、人間を創出する
リソースである、になりつつある、急速に

Once you stop learning, you start dying. Einstein